2016 No.24
人道的支援
特集号 N0.2

Operation Exodus
出エジプト作戦

エベネゼル国際緊急基金



「慰めよ。慰めよ。わたしの民を。」
とあなたがたの神は仰せられる。
「エルサレムに優しく語りかけよ。
これに呼びかけよ。その労苦は終
わり、その咎は償われた。そのす
べての罪に引き替え、二倍のもの
を主の手から受けたと。」
イザヤ40章1節～２節

人道的支援特集

＋ 特集 エベネゼル・出エジプト作戦とは

モルドバ

支援を通して彼らは帰還する

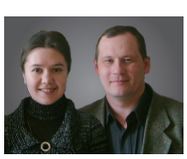
モルドバの小さな国にいる多くの人たちにとって、生活することが生き延びるための戦いとなっています。医薬品や食料品の値段が上がっていることが、悪化している経済状況の中で、さらに生活を困難なものにしています。



モルドバに住むほとんどの若いユダヤ人家族にとっては、冬は非常に厳しいものです。特に、子供が多い家族や低所得の家族にとってはそうです。ですから、ハヌカの食料ボックスと冬靴のプロジェクトの働きは決して過大評価しすぎることはありません。なぜなら、それらを通して、私たちは最も困窮している家族に支援をすることができ、何よりも、彼らが神によってイスラエルに帰還する召しに応えるように励ます機会が与えられるからです。

この支援を受けた多くの人たちが、私たちが分かち合うアリヤーのメッセージに心を開き、約束の地へ帰還するためのステップを踏み出しているのを見て、私たちはとても励まされています。その中には、ベラとその家族がいます。主は彼女を強めてくださったので、ガンの治療を受けた後に、彼女は家族とともにアリヤーすることができました。彼らは、エベネゼルからの励ましと祈りと経済的支援に本当に感謝していました。私たちは彼らがイスラエル領事を訪れるための助けをし、緊急な書類手続きのための費用を負担し、出国の実際的な準備の援助を行いました。その後、彼らは間もなくイスラエルに到着し、何年か前に帰還した彼らの長男と合流することができました。

エベネゼル出エジプト作戦の働きを支援してくださる皆さんの経済的寛大さと祈りの献身を通して、私たちは支援を本当に必要としている方々へ、即座に実際的な支援を行うことができるのです。ありがとうございます！皆さんなしには、私たちにはできないことなのです。



Pavel & Lina
Moldova team leaders
モルドバチームリーダー

ユダヤ人のイスラエルへの帰還を助けるクリスチャンの働き







ウクライナ

支援プロジェクトはなくてはならない働き！

人道的支援のプロジェクトは私たちの働きの中心です。子供と貧困家庭へのハヌカの食料ボックス配布はその働きの一つです。

ウクライナでは、この特別な時期に、多くのユダヤ人たちに愛を行いをもって示し、彼らに喜びの光をもたらす機会となります。ミチェラと私は、ウクライナでユダヤ人を支援するエベネゼルの献身的な働きを直接体験することができ感謝でした。バディムとヤンヤとチームは、ユダヤ人家族の人が誰でも読むことのできる神の愛の手紙です。

私たちの滞在期間に、ウクライナ中央にあるビラ・ツェルクバとキエフ地方で、食料ボックスの配布の奉仕をしました。私たちは４６の家族を訪れ、５６人の子供たちを祝福することができました。この家族の中には、それまで一度もエベネゼルとコンタクトがない家族もあり、彼らにとってエベネゼルが分かち合うアリヤーのメッセージは初めての機会となりました。また、彼らの中には、パスポート取得のための経済的支援をエベネゼルから受けたい、また今年イスラエル帰還したいので、これからそのために必要なステップを踏むと言っていた家族もありました。



ビラ・ツェルクバのユダヤ人協会支部の代表者が、私たちがユダヤ人家族を見つける手助けをしてくださり、また何度かその訪問にも同伴してくださいました。私たちはユダヤ人協会会長からの歓迎を受け、集まった高齢の方々の前であいさつする機会も与えられました。

エベネゼルのボランティアなら誰でもわかるように、ユダヤ人の家族に出会い、子どもたちを喜ばせ、アリヤーのメッセージを伝え、彼らの人生に目的を与えることほどの喜びはありません。神の永遠の目的に献身していることの平安と達成感が与えられるのです。



Gian Luca
& Michela Morotti
エンゲージ・スイス　&
エベネゼル　フランス

ユダヤ人のイスラエルへの帰還を助けるクリスチャンの働き

奇跡の季節

私たちは、ハヌカの期間に、食料ボックス配布をしてモルドバのチームを支援することができて、本当に祝福でした。私たちが出会った多くの家族が、喜んで一つ一つの食料ボックスを受け取っていました。特に子供たちは、チョコレートを見て本当にうれしそうにしていました。その後、子供たちと一緒に遊んだり絵をかいたりして、楽しく過ごしました。言葉の壁はもはや問題ではありませんでした。



私たちはホロコーストの生存者であるマリアに出会い深く感動しました。彼女は、私たちを娘のルドミラと孫娘のイヤと一緒に温かく迎えてくれました。マリアは３歳で孤児となり、その後苦しい人生を送ってきたことを語ってくれました。この３人の女性たちは、わずかな収入でなんとか生活をしていました。彼女たちは、私たちを喜んで迎えてくれ、ケーキとチョコレートでハヌカの祝いをともにしました。なんという祝福でしょう。

私たちはまた、いくつもの家族が、どんな貧困と不健全な住宅環境にあるかを見て衝撃を受けました。イゴルの困難な状況を聞いて私たちの心は痛みました。彼の妻はしばらく結核で入院していました。それで彼が5人の子供を一人で見なくてはなりませんでした。一番下の息子はまだ生後４か月でした。それで私たちのチームは、赤ちゃんのオムツを買ったり、その他の支援によって彼をサポートすることができました。このような家族の困難な状況の中でも、イゴルは、よりよい将来が彼らをイスラエルにおいて待っているということを知りました。私たちは、彼らに帰還のための出発を遅らせないよう励ましました。

ハヌカは、奇跡の季節です。私たちはその奇跡の一つを自分たちの目で見ることができました。私たちは、ツィラという、息子と二人の孫と一緒に生活している女性に会いました。彼女は、自分の孫娘は、書類が不十分だったために、イスラエルで勉強することができないと悲しそうに話していました。しかし、私たちが帰ってから一時間もしないうちに、ユダヤ人協会から連絡が入り、彼女の書類は受け入れられたと聞きました。それで、ツィラは、4人そろってできるだけ早く帰還するつもりだ、と本当にうれしそうに話してくれました。



ジェラルダイン　＆　ベルナデッテ　トルバウダウト
エンゲージ・スイス　＆　エベネゼル　フランス



ユダヤ人のイスラエルへ帰還を助けるクリスチャンの働き





ウクライナ

ホロコースト生存者にとっての喜び

ディビッドは、ウクライナの彼の村にヒトラーの兵士たちが着いた日のことを涙ながらに思い出していました。彼は、自分の祖父母と両親が殴られるのを見ました。そして村の人々がみな峡谷へ連れて行かれ、そこで撃たれて彼らはみな崖から捨てられたのです。

デイビッドの母親は彼に最後にキスをして、こう言いました。「これが私たちの運命よ。」「いや、ちがう！」と彼は答えました。「それじゃ、逃げなさい。」と彼女は言いました。それで、彼は彼の後ろから飛び来る銃弾を避けながら走り続けました。その間、銃弾は一つも彼に当たらなかったのです。「私が今生きているのは、ただ神の恵みによるのです。」と彼は語りました。



ディビッドは多くのホロコーストの生存者、ユダヤ人の軍人の一人で、エベネエルが旧ソ連で出会い支援している人たちのひとりです。特に彼らのためには医薬品を提供しています。しかし、彼らにとってどんな医薬品よりも尊いものは、クリスチャンたちが彼らのもとに運ぶ愛とケアです。彼らとの会話の中で、彼らにアリヤーについて分かち合う機会を多く与えられます。そして彼らがその後、自分の家族—子供や孫—にアリヤーについて分かち合うのです。どうか、この特別な年配の人々への働きのためにお祈りください。



YANYA
ヤンヤ
ウクライナチーム

極東ロシア

学習支援は本当に多くの実を結んでいます！

マリア（下左）はユダヤ人協会のイスラエルの子供学習プログラムに入学が認められました。それで、ビザ取得のためにモスクワに親同伴で行かなければならなかったのですが、両親は航空券を買う余裕がありませんでした。それでその地区のユダヤ人協会の要請を受け、私たちエベネゼルが、彼らのモスクワ往復の航空券を全額負担しました。

ロシア極東から、イスラエル大使館へも行くことができ、マリアは新学期に間に合うように、イスラエルへ飛び立つことができました。

私たちのチームは旧ソ連において、多くの若いユダヤ人がイスラエルで学ぶことができるように支援してきました。これは私たちの支援活動の中でも最も効果的な働きとなっています。なぜなら、そのような支援を受けた多くの人たちは、イスラエルに住むことを本当に喜び、その後アリヤーすることになり、その結果彼らの親や他の家族のメンバーたちも帰還するようになるからです。



Konstantin & Alyona
コンスタンチン
＆　アルヨナ
ハバロフスクリーダー





ユダヤ人のイスラエルへの帰還を助けるクリスチャンの働き

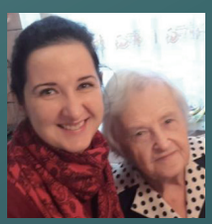
継続的に行っているプロジェクト

現在進行中のプロジェクト



靴、衣服、毛布

暖かい冬靴や衣服や毛布は、多くのユダヤ人の家族に喜ばれています。彼らが長い極寒のロシアの冬を乗り越える助けとなります。



ホロコースト生存者の為の医薬品

ホロコースト生存者や年配のユダヤ人たちに、自分たちの年金では買うことのできない慢性的な病気のために必要な医薬品などを提供しています。



一年を通して食料ボックス配布

私たちの食料ボックス配布は、十分な食事をとることのできない貧しいユダヤ人の家族にとって欠かせないものとなっています。特にハヌカの期間のこの支援は、彼らに喜ばれています



イスラエルでの支援

エルサレム支部では、イスラエルへ帰還したばかりの人々の支援をしています。ある人々には、食料品や日用品の提供をし、また彼らがイスラエルを自分の故郷とすることができるために、いろいろなアドバイスや情報を提供しています。



子供のいるユダヤ人の家族

学校の制服や文房具を提供することは、そういったものを買う余裕のない親たちに喜ばれています。また、子供たちがイスラエルでの学習プログラムに参加する支援も行っています。



ブネイ・メナシェ

私たちは、継続的にシャベイ・イスラエルというユダヤ人団体をサポートし、今年もブネイ・メナシェ族がアリヤーできるように支援し続けます。

ロシア

子供の必要を満たす

低所得のユダヤ人家族を支援する方法の一つとして、子供のための学校制服や文房具を提供することをしています。地域のユダヤ人協会のリーダーからの要請に応じて、私たちは二つの母子家庭ーそれぞれ3人の子供—の制服を提供しました。また、１０家族に学校のための文房具を提供しました。

これらのものの値段が今非常に高くなってきているので、９月に新学期が始まるタイミングに合わせてこのような支援を受けることができて、親たちは非常に感謝していました。



他にも２０１５年に子供のために行った人道的支援プロジェクトの中には、２０以上の家族に医薬品や食料ボックスを配布したことがあります。集会などの時に、子供たちにプレゼントを渡しました。その一つは、障害のある母親の会、もう一つは、障害のある子供たちが工作技術を身につけるためのアートセンターでの集まりです。プレゼントを受け取った子供たちの心は、深く感動しているようでした。

ノボシビルスクチームは、シベリアの２８家族のために、２０１５年９月から始まる新学期のために、学校制服や本やかばんを購入して提供することができました。



Nikolai
ニコライ
ピャティゴルスク地区代表



インド

帰還する彼ら!

エベネゼル出エジプト作戦は、奇跡的なイスラエルへの帰還を支援しています。これは、深い歴史的、聖書的な意味を持っています。

２７００年以上前にイスラエルの地を追われた先祖たち・ブネイ・メナシェ族（ヘブライ語ではマナセの子たち）が、預言者たちが語った通りに、現在大人数で帰還しています。

過去2年の間に、シャベイ・イスラエルは、１１００人のブネイ・メナシェ族の人々が、インドの北東部からイスラエルへ帰還するのを支援しました。今３０００人のブネイ・メナシェ族のユダヤ人がイスラエルに在住しています。そしてさらにインドにおいて７０００人が先祖の地へと帰還する日を待っているのです。

今年イスラエル政府は、シャベイ・イスラエルが７００人のブネイ・メナシェ族が帰還させるのを許可しています。そしてこの１０年が終わるまでに残りのブネイ・メナシェ族が皆イスラエルへ帰還できることを、私たちは願っています。彼らのイスラエル帰還は、急速に進んでいますが、私たちには皆さんの支援が必要なのです!

イザヤ書49章22節に「見よ。わたしは国々に向かって手を上げ、わたしの旗を国々の民に向かって揚げる。彼らは、あなたの息子たちをふところに抱いて来、あなたの娘たちは肩に負われて来る。」という言葉にあるように、イスラエルの子らを国々からイスラエルへと運ぶのは私たちなのです。

皆さんが、愛と祈りと経済的な支援によって私たちを運ぶことができるのです。ですから、ぜひ私たちがブネイ・メナシェ族をイスラエルへと運ぶことができるように、支援をお願いいたします。



Michael Freund
マイケル・フルンド
シャベイ・イスラエル議長



EBENEZER
OPERATION EXODUS

エベネゼル緊急基金日本支部
〒062-8691 豊平郵便局私書箱37号
TEL&FAX: 011-813-3558（岡田）
EMAIL：OFFICE@EBENEZERJAPAN.ORG

エベネゼル緊急基金日本支部
〒 062-8691 豊平郵便局私書箱 37 号
Tel&Fax: 011-813-3558（岡田）
Email：office@ebenezerjapan.org

ホームページ：　http://ebenezerjapan.org/
郵便振替（名称）エベネゼル緊急基金　（番号）02710-0-55842

御言葉の預言に立つエベネゼルの働き

預言的とりなしの働き

ダニエル書9章で、エレミヤの預言にしたがってエルサレムの荒廃が終わる年数が70年であると悟ったダニエルは捕囚の民の解放のために祈り始めました。同様に20世紀において聖書から「今こそ北の国から民が帰還（アリヤー）すべき時である」と悟ったクリスチャンたちが立ち上がり、民の解放のために祈り始めたのです。

しかし、モーセが幾度も「民を去らせよ」と宣言した時にかたくなパロはそれを拒否し続けたように、ソ連邦もその時には決して民を去らせようとはしませんでした。

しかし多くの祈りの結果、エジプトが多くの災害の後に主に屈したように、ソ連もまた多くの災害と困窮によってユダヤ人たちを解放しなければならなくなりました。これが預言的とりなしの力です。

帰還を助ける働きは神の懐から出たものです。それゆえそれを理解するには主からの直接的な啓示が必要です。エベネゼルが単なる人道的援助団体ではないと言われているのは、預言的とりなしのわざがその働きの土台となっているからなのです。

土地、人、契約という三つの回復

エゼキエル36章は聖書全体の中でもユダヤ人やイスラエルの回復について知るための大きな鍵となる御言葉です。

1節において「山々に預言」していますがこれは土地の回復を意味し、1948年に実現しました。

次に22節に「イスラエルの家」に預言しています。これは二つ目の回復として「約束の地にユダヤ人が戻らねばならない」ことを意味します。

そしてこの民の帰還こそ26節、27節にあるように「契約の回復＝ユダヤ人の救い」という3つ目の回復に大きく関係しているのです。

ユダヤ人の民族的な救いには順序あります。まず第一に24節にあるように「すべての国々から集められ、約束の地に連れて行かれる」時に、25節にあるような「きよい水の振りかけ」すなわち救い（契約の回復）が成し遂げられるのです。

この回復のシナリオは、異邦人のクリスチャンをはじめ全人類にとって重要です。

なぜなら使徒の働き3章の言葉に「悔い改めなさい」～「イエスは万物が改まる時まで再臨することができない」とあるからです。

この万物の改まる順序こそ（1）国家としてのイスラエルが回復し、（2）約束の地に民が回復され、（3）諸国の民が主を知る（エゼキエル36：23）、（4）ユダヤ人の救いであり、その後にキリストの再臨があるのです。

神の直接的な働きへの招待

アダムは禁断の実を食べ（すなわち契約を破り）この地の支配権を失い、土地を追い出されました。その回復、すなわち土地、民、契約の回復は、創世記1章の冒頭からの重要なテーマであり聖書の中心的なテーマです。

私たちは国境線を動かすことはできません。またイスラエル政府と協調して働く関係上直接的に福音を伝えることもできませんが、このユダヤ人の帰還の支援というのは旧約聖書の三大回復のテーマのひとつである、民を回復させる働きに直接的に関わることを意味しています。

イスラエルに関わる働きは直接伝道か間接伝道かという言葉がしばしば使われますが、エベネゼル緊急基金の働きとは、神の御心の中心的な出来事に直接的に関わっていく事なのです。

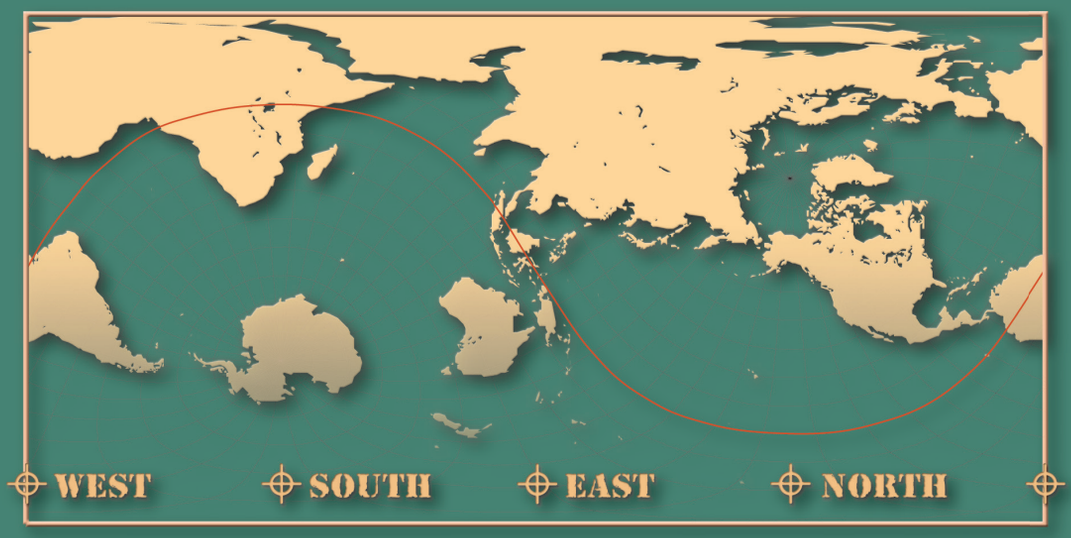
アリヤー

アリヤーとはヘブライ語で「上る」を意味し、イスラエルへの帰還を表す言葉です。詩篇のいう「都上りの歌」にあるように、「主は大いなることをなされ、われわれはそれを喜ぶ」のです。

無料配布

出エジプト作戦
人道的支援特集号 NO.2
翻訳版小冊子特別号（2016年2月）

巻末付録



エベネゼル・出エジプト作戦とは

エベネゼル緊急基金はユダヤ人の帰還を助けるクリスチャンの国際団体です。世界40ヶ国に各国代表と事務所を設置し、旧ソ連邦諸国を中心に数多くのボランティア基地を設置し、1991年以来、約15万人以上のユダヤ人の帰還を助けてきました。

その働きは単に帰還を希望する人の手助けをするだけにとどまらず、それまで存在していなかったオデッサ～ハイファ間の航路を開き、船をチャーターし渡航の全額を負担し、一時宿泊施設を設置し、救援物資を備え、港や空港までの旅費を全額負担するなど帰還に関わるすべての必要を満たして来ました。

また積極的に、迫害を避けて奥地に隠れ住んでいるユダヤ人達を探し出し、イスラエルへの帰還の「よき知らせ」を伝えてきました。

現在ではヨーロッパ、アメリカ、ラテンアメリカなど文字通り世界中からの帰還を支援しております。

特にアメリカ合衆国からの帰還は、終末の緊急な時代にあって重要な位置を占めています。













小冊子版・出エジプト作戦　第８号　2015年１月発行
発行者：エベネゼル緊急基金日本支部（代表：岡田好弘）
Tel：011-813-3558（岡田）
〒062-8691 豊平郵便局私書箱３７号

http://eefj.org
郵便振替名称：エベネゼル緊急基金
郵便振替番号：02710-0-55842